保証とアフターサービス（よくお読みください）

アフターサービスについて

アフターサービスについては、お買い上げの販売店・工事店または松下電工修理ご相談センターへお問い合わせください。保証規定に基づき対応させていただきます。
また、消耗品等部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このユニット本体の補修用性能部品を製造打ち切り後最低７年間保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
一部代替品での供給を行う場合があります。また、個々の組み込み機器の保証書または取扱説明書に記載されている場合は、それに従います。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後は、有料修理となります。
（修理料金：部品代＋技術料＋出張料）

修理をご依頼の際、連絡していただきたい内容

・お名前、おところ、お電話番号
・商品名（本書表紙に記載）、品番
・お引渡し年月日
・不具合箇所、不具合内容（詳しく）

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店または下記窓口へお申し付けください。

修理のご相談　「修理ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-081-365（ハイ　365日）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【365日／受付9:00～20:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

大　阪☎06-6906-1090　〒571-8686　大阪府門真市門真1048　松下電工テクノサービス（株）
札　幌☎011-261-6401㊟　名古屋☎052-551-7900㊟
東　京☎03-5392-7190㊟　福　岡☎092-622-0531㊟

消耗品・交換部品・オプション部品のご購入　「ハイ・パーツショップ」

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-081-802（ハイ　パーツ）
ホームページ　http://www.sumu2.com/shop/parts/

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間　月～金：9:00～19:00　土・日・祝：9:00～17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

○東日本　ハイ・パーツショップ
TEL　03－5392－7189
〒174-0041　東京都板橋区舟渡1丁目12番11号ヘリオスⅡ2階
松下電工テクノサービス（株）　東部支社

○西日本　ハイ・パーツショップ
TEL　06－6906－1224
〒571-8686　大阪府門真市門真1048
松下電工テクノサービス（株）　近畿支社

使いかた・お買い物などのご相談　「ナショナル パナソニックお客様ご相談センター」

電話 フリーダイヤル　0120-878-365（パナは　365日）

【365日／受付9:00～20:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

TEL　06－6907－1187　FAX フリーダイヤル　0120-878-236

ご注意　所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
㊟印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電工株式会社および松下電工グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
また、お客様に折り返し電話させていただくときのために、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

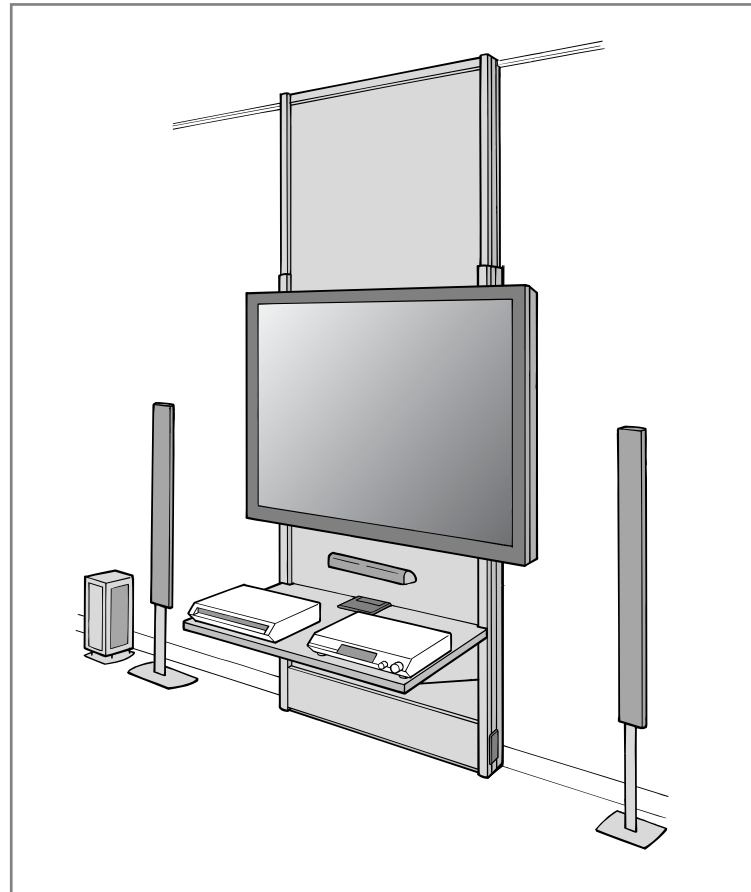
松下電工株式会社　収納システム事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

D1007-0

National　シアターパネルシステム　Sシリーズ　取扱説明書

National

取扱説明書

シアターパネルシステム　Sシリーズ

このたびは、「シアターパネルシステム　Sシリーズ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（2～3ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
■11ページの保証書は「お引渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
■お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
■商品の廃棄時は法律に従って行ってください。

もくじ

シー219　第1版 0709

安全上のご注意

必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
	この表示の欄は、「重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

絶対に分解・改造しない。

分解禁止

けがや事故の原因となります。
修理は販売店へご相談ください。

ユニット本体に水をかけたりしない。

水ぬれ禁止

ショート・漏電・感電のおそれがあります。

水槽・花瓶など、水の入ったものを置かない。

禁止

水がこぼれると、ショート・漏電・感電のおそれがあります。

蒸気の出る家電製品（炊飯器、ポットなど）は、棚の上では使用しない。

禁止

火災・変形・器具故障の原因となります。

ユニット内でテーブルタップの接続をしない。

禁止

守らないと、ほこりによるショート・火災のおそれがあります。

お子様を本商品のまわりで遊ばせない。
また、壁掛したテレビや棚に無理な力をかけたり、ぶら下がったり、もたれかかったり、乗ったりしない。

禁止

・収納物が落下してけがをするおそれがあります。
・テレビや棚が破損・変形したり、落下してけがをするおそれがあります。

AV機器を設置する場合は、周囲に十分なすき間をとる。

必ず守る

十分なすき間がないとユニット内に熱がこもり、火災・変色・変形のおそれがあります。（詳細は各商品に付いている説明書をご参照ください。）

収納するAV機器については各商品の取扱説明書にある設置基準を守る。

必ず守る

本商品は可燃物です。不燃材・難燃材・防熱板・遮熱板仕様ではないため、設置基準を守らないと、火災・故障・事故などの原因になります。

⚠警告

化粧パネルの下地が入っていない部分（床面から1700 mm以上：斜線部）に物を取り付けない。

禁止

落下してけがをするおそれがあります。

薄型テレビの壁掛金具は必ずテレビメーカー純正品を使用し、取り付けは壁掛金具の施工説明書に準じて行う。

必ず守る

施工に不備があると、テレビが落下してけがをするおそれがあります。

質量制限を必ず守る。
薄型テレビ＋壁掛金具＝70 kgまで

必ず守る

ユニットが、破損・転倒したり、テレビが落下してけがをするおそれがあります。

棚にテレビを置かない。

禁止

棚が破損してけがをするおそれがあります。

不安定なもの、割れやすいもの、鋭利なものを置かない。

禁止

設置物が落下してけがをするおそれがあります。

棚にぶつからない。

禁止

設置物が落下してけがをするおそれがあります。

設置物質量制限（均等荷重）を必ず守る。
棚：30 kgまで
（棚は局部的に荷重をかけないでください。）

必ず守る

重いものをのせると、棚板が破損・変形したり、落下してけがをするおそれがあります。
※質量制限内であっても棚板がたわむおそれがあります。

⚠注意

化粧パネルの下地が入っていない部分（床面から1700 mm以上：斜線部）には、手で押すなどの力を加えない

禁止

ユニットが変形・破損してけがをするおそれがあります。

設置について

テレビの設置について

壁掛金具について

重要
- ●推奨テレビサイズは37～50インチです。
- ●壁掛金具は必ずテレビメーカー純正品をお使いください。また、壁掛金具の取扱説明書に準じて設置してください。
- ●壁掛金具は本製品付属の⑥壁掛金具固定ねじと連結ワッシャーで固定してください。
- ●テレビ+壁掛金具の質量は70 kg以下としてください。
- ●取り付け工事は、テレビをお買い上げ頂いた電器店様にご相談ください。
- ●壁掛金具の固定は網掛けの範囲内にしてください。
- ●壁掛金具は、幅850 mm以上のものを取り付けることはできません。

⚠警告

必ず守る

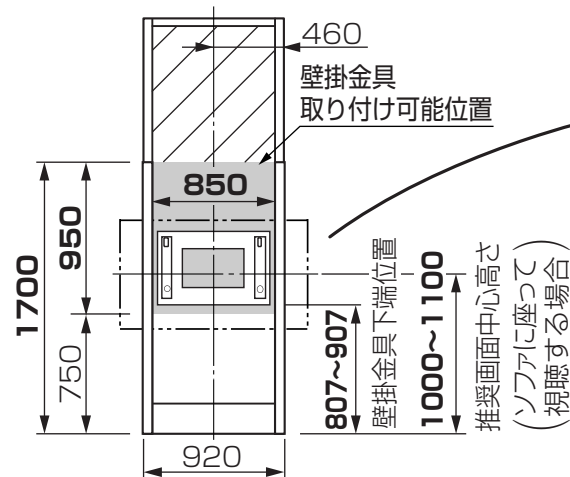
●ねじを固定する場合は、電動ドライバーなどの締めすぎによるねじの空回り、頭（スリワリ⊕）つぶれのないようにする。

固定用ねじがきかないと、部材が落下してけがの原因となります。

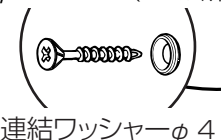
禁止

●化粧パネルの下地が入っていない部分（床面から1700 mm以上：斜線部）に物を取り付けない。

落下してけがをするおそれがあります。

■壁掛金具とTV画面高さ位置 <松下電器産業（株）製「ビエラ」の場合>

壁掛金具 TY-WK42PV3U

⑥壁掛金具固定ねじ
φ 3.8×25（14か所）

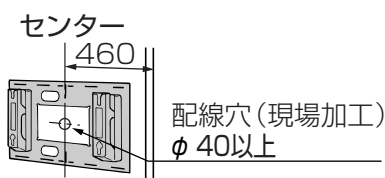
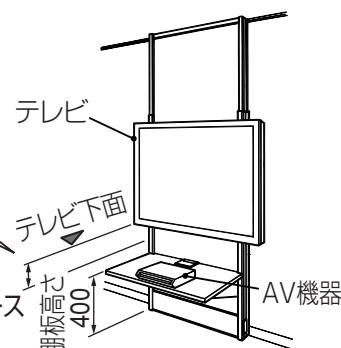
連結ワッシャーφ 4

取り付け面は、厚み4 mmの化粧MDFボード+厚み12 mmの合板です。

重要
- ●壁掛金具は左右均等な位置に取り付けてください。
- ●取り付け面の化粧MDFボードと合板の間にすき間のないように確実に固定してください。
- ●インパクトドライバーによる壁掛金具固定ねじの固定はしないでください。（から回りするおそれがあります。）

重要
- ●床面から1700 mm以上の下地が入っていない部分（斜線部）にはテレビや小物などの部品を取り付けないでください。また、変形・破損などのおそれがあるため、手で押すなどの力を加えないでください。
- ●テレビは左右均等な位置に取り付けてください。

重要 <棚ありタイプの場合>

テレビ・AV機器の放熱スペースを確保できる高さにテレビを設置してください。

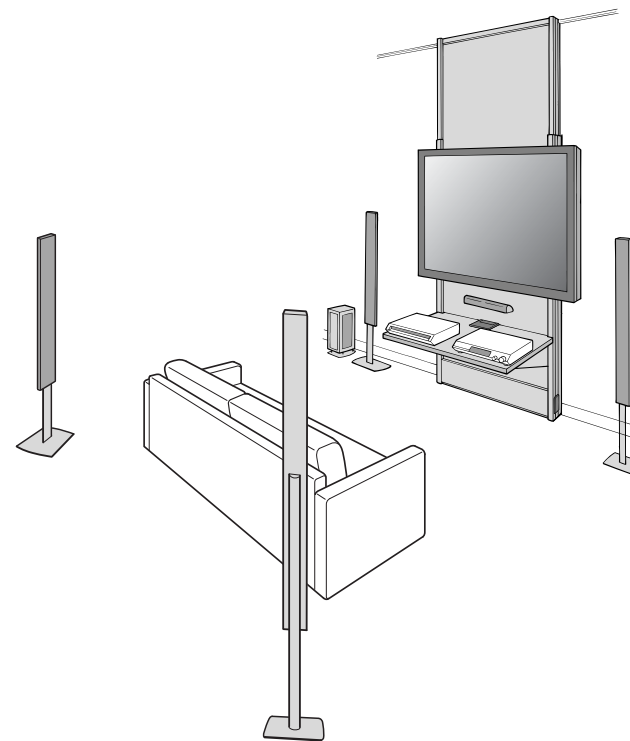
※放熱に必要なスペースについてはテレビ・AV機器の取扱説明書などにしたがってください。

配線用穴あけ

- ●壁掛金具の形状に合わせ、テレビ電源線、情報線が通る大きさの穴をユニットの中央にあけてください。
- ●配線穴がユニット中央にないと、配線ができないおそれがあります。

センター
460
配線穴（現場加工）
φ 40以上

AV機器の設置について

- ●機器の積み重ね使用はしないでください。
- ●テレビ・AV機器により接続ケーブルの種類、本数が異なります。また、AV機器の設置位置によりケーブルの長さも異なりますので、AV機器の専門店様や電気工事店様にご相談ください。

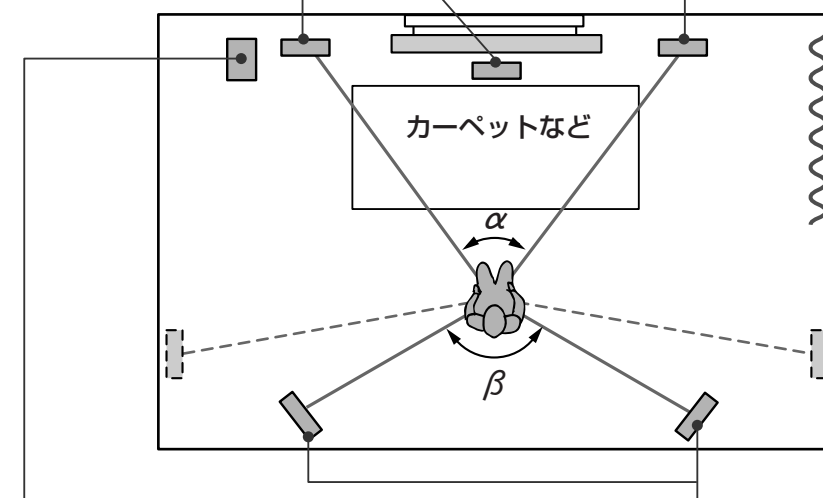
スピーカーの配置について 5.1chスピーカーを使用してシアターを楽しまれる場合

低音について

部屋の壁面の近くや四隅で聴くと、部屋の定在波の影響により、ある特定の周波数の低音が強調されることが多く、低音が出過ぎて聴きづらくなることがあります。
また逆にそれ以外の場所で低音の聞こえにくい所もありますので、聴く場所による低音の出かたを調べておくことが大切です。

フロントスピーカー

- ●スピーカーには指向性があり、正面方向から外れるほど高域が減衰するので、αがあまり大きくなると視聴位置から見たフロントスピーカーの仰角が大きくなりすぎて、高域が不足気味の音になります。
- ●やむを得ず、αが大きくなってしまう場合は、フロントスピーカーを視聴位置の方に斜めに向けると高域の減衰が少し解消されます。
- ●フロントスピーカーが部屋の側壁に近い場合は側壁にカーテンなど吸音性のあるものを設置することをおすすめします。

センタースピーカー

視聴位置よりも前（特にセンタースピーカーとの間）には、床にカーペットなどを敷き、床面の音の反射を減らします。

カーテンなど
吸音性のあるもの

α＝60°、β＝120°が標準です。
これは、ITU（国際電気通信連合）で推奨されている設定です。

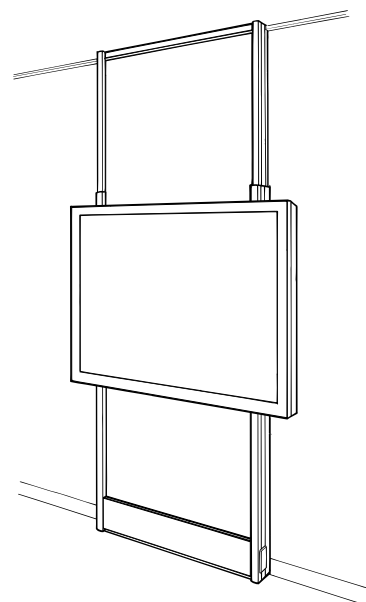
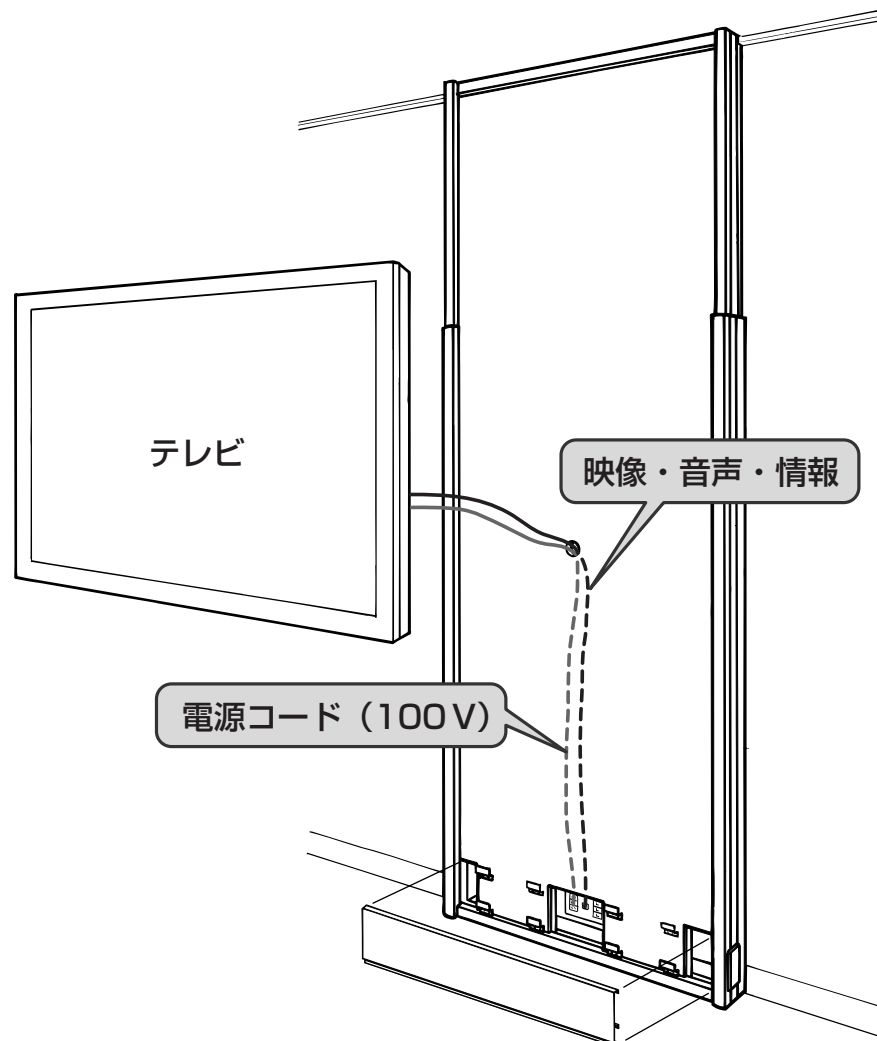
サブウーハー

低音は方向性を感じにくいので、サブウーハーはどこに置いても構いません。部屋の隅に置く方が低音が増えます。ただし、視聴位置の横や後方に置くと方向性を強く感じて違和感が生じるので、前方が適しています。

サラウンドスピーカー

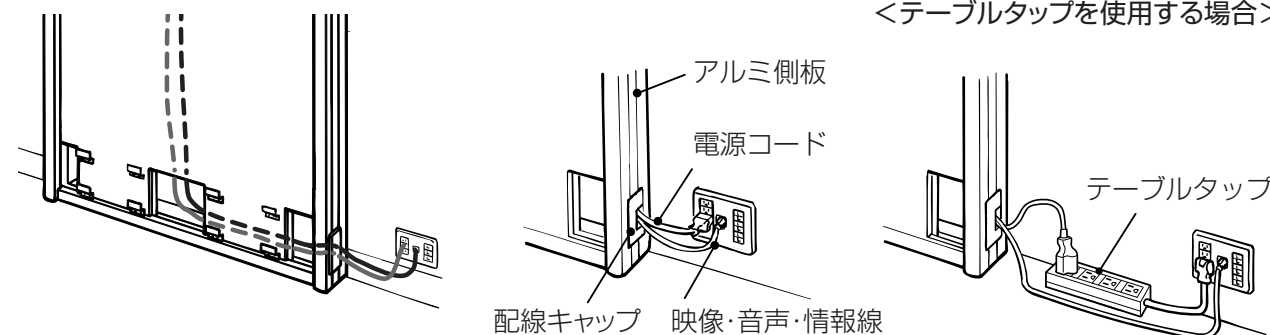
耳の位置よりもやや高い所から音が出るように設置する方が好効果が得られます。
なお、一般的にサラウンドスピーカーは、指向性による高域の減衰がフロントスピーカーほど聴感上気になりません。後方壁面に設置場所がない場合は、上図点線のように側壁に設置しても構いません。

配線について

棚なしタイプ

■ユニット背面壁のコンセントを使用する場合

AC変換器による電源線の配線はしないでください。
配線カバーの取り付けができないおそれがあります。

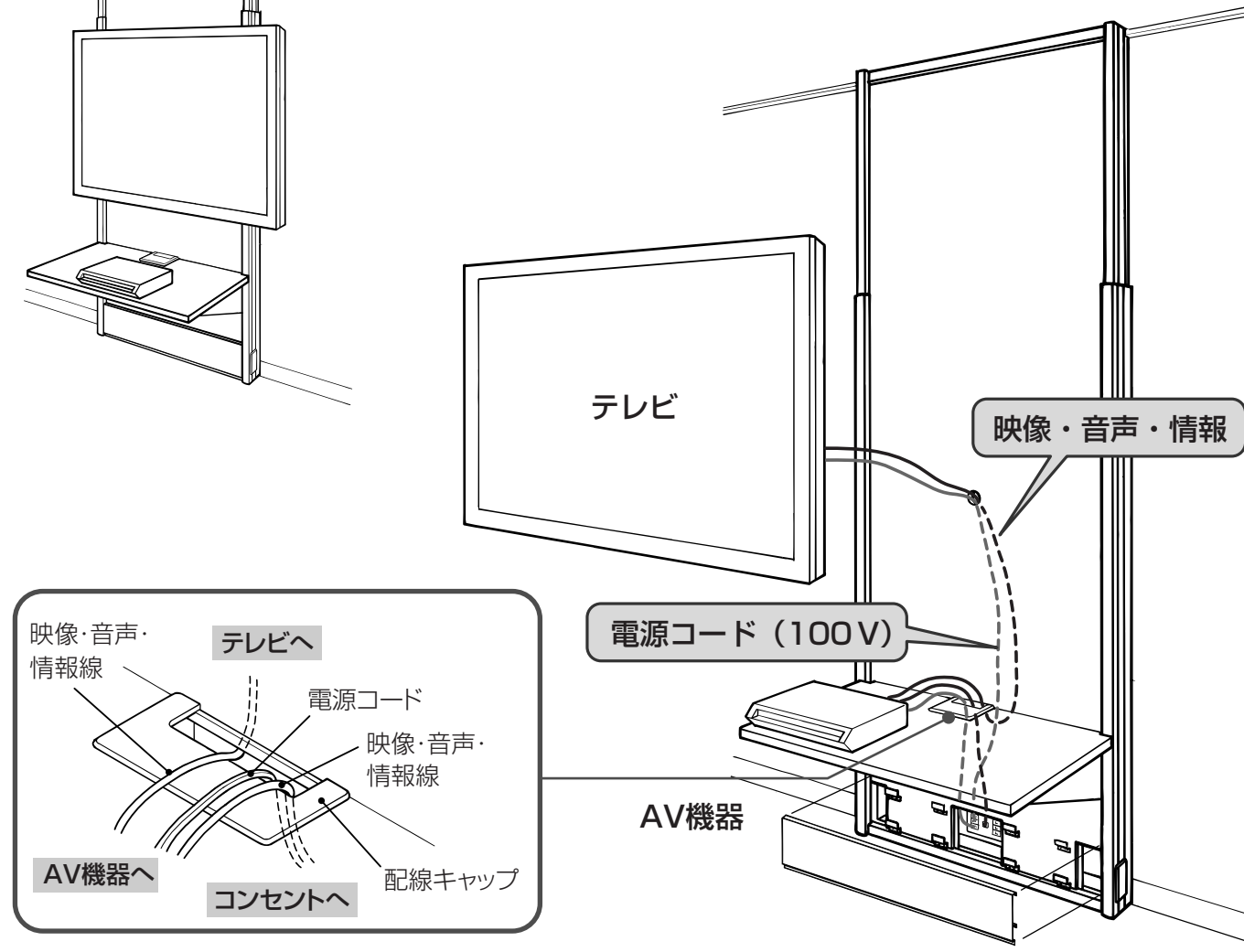
■既設のコンセントを使用する場合

<テーブルタップを使用する場合>

重要

●**ユニット内でテーブルタップの接続をしないでください。**
ユニット内で接続すると、TV電源プラグが不完全な接続となり、ほこり・ちりによってショートするおそれがあります。

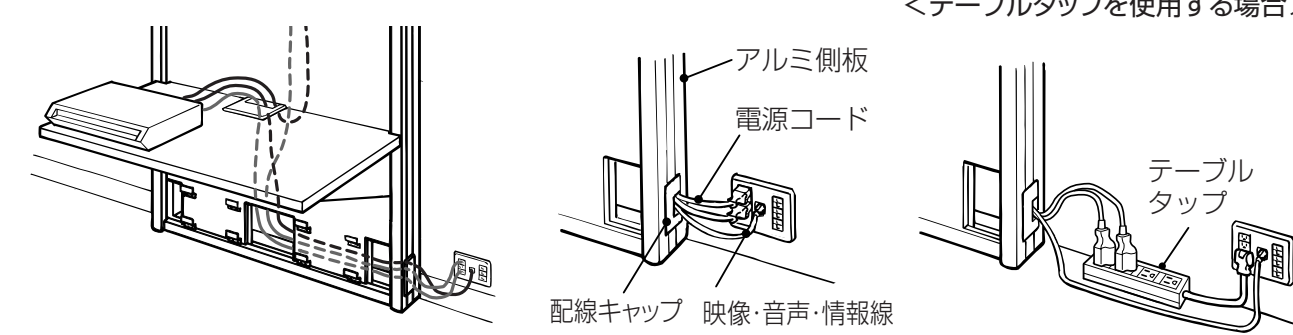
●**テーブルタップの定格容量を超えた配線をしないでください。**
（たこ足配線などをしないでください。）

棚ありタイプ

■ユニット背面壁のコンセントを使用する場合

AC変換器による電源線の配線はしないでください。
配線カバーの取り付けができないおそれがあります。

■既設のコンセントを使用する場合

<テーブルタップを使用する場合>

重要

●**ユニット内でテーブルタップの接続をしないでください。**
ユニット内で接続すると、TV電源プラグが不完全な接続となり、ほこり・ちりによってショートするおそれがあります。

●**テーブルタップの定格容量を超えた配線をしないでください。**
（たこ足配線などをしないでください。）

棚ありタイプ+5.1chスピーカー

■ユニット背面壁のコンセントを使用する場合

テレビ

映像・音声・情報

センター
スピーカー

電源コード（100V）

AV機器

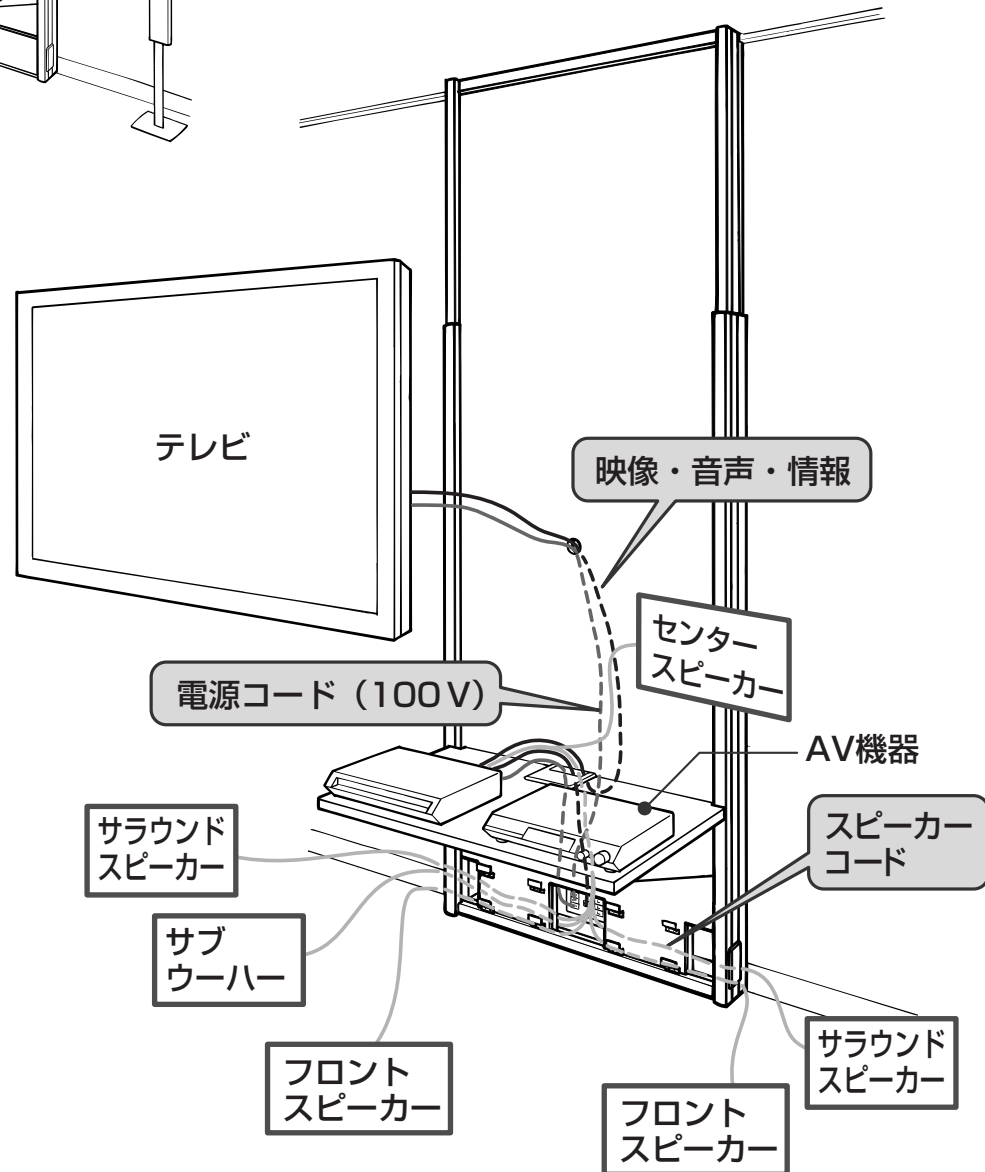
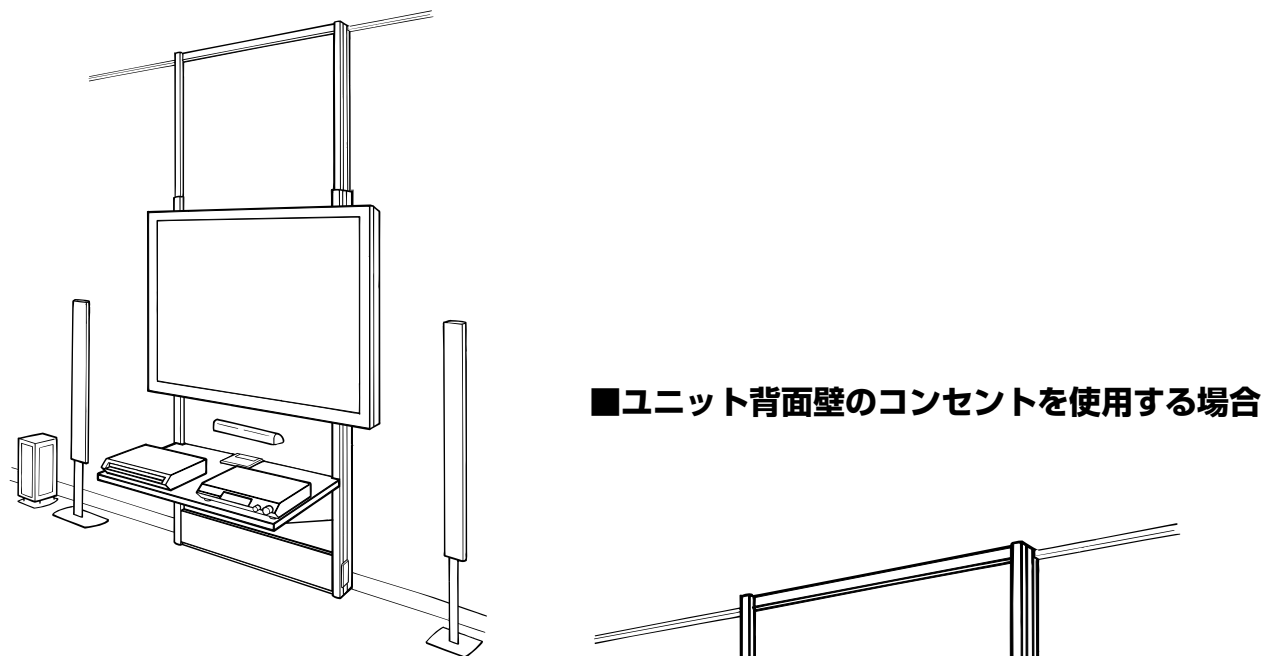
サラウンド
スピーカー

スピーカー
コード

サブ
ウーハー

フロント
スピーカー

サラウンド
スピーカー

フロント
スピーカー

■既設のコンセントを使用する場合　… 7ページ参照

使いかた

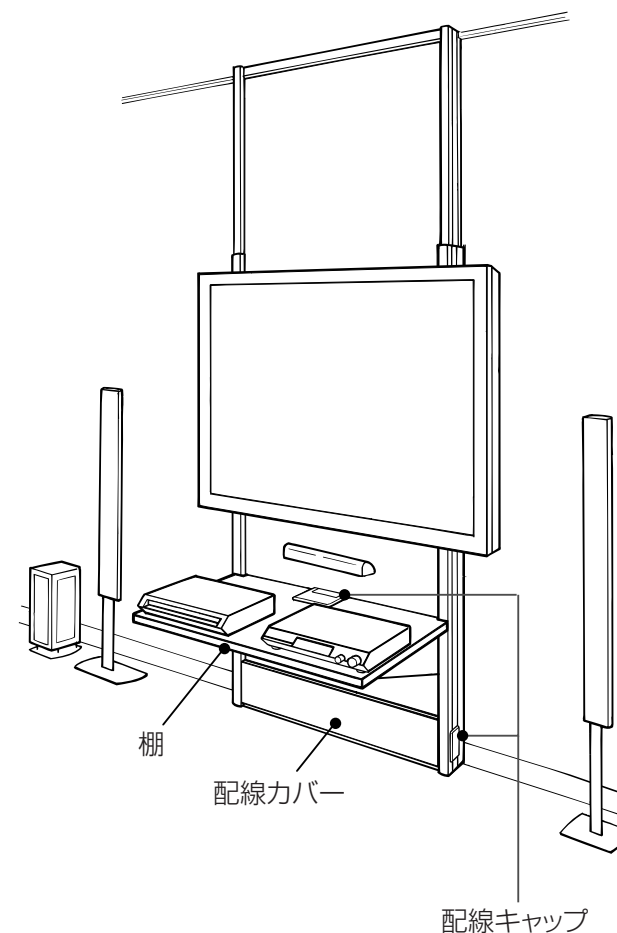
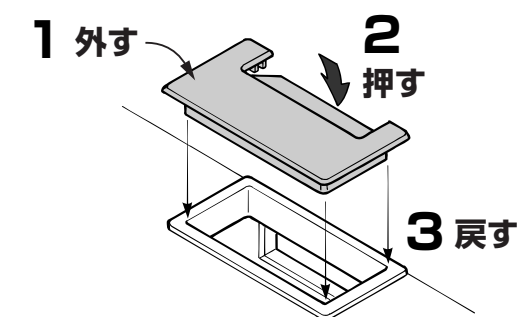
棚

●設置物質量制限（均等荷重で30kgまで）を必ず守ってください。
重いものをのせるとユニットなどが変形・破損したり、落下してけがをする原因となります。

※設置物質量制限は、設置物を偏りなく収納することを前提としています。

※棚板には多少の初期たわみがあります。

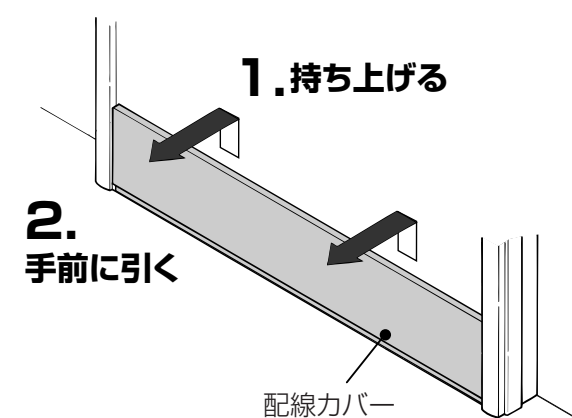
＜配線キャップ＞

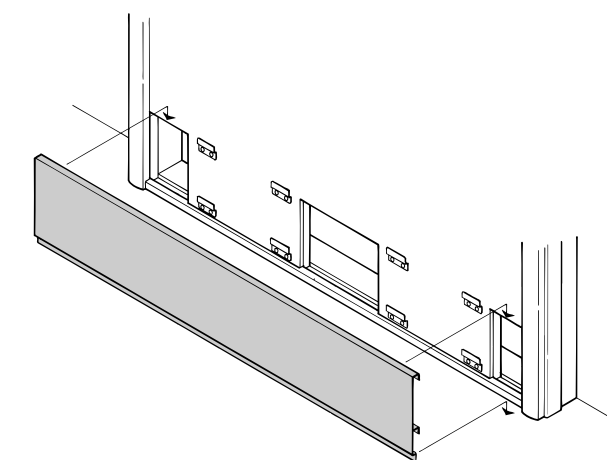
下図のようにふたを開けて、コードを通してください。

配線、コンセントのメンテナンス

配線、コンセントのメンテナンスは配線カバーを取り外して行ってください。

コンセントなど電気器具のメンテナンスは電気店（電気工事店）様にご相談ください。

＜配線カバーの取り外しかた＞

配線カバーを持ち上げて、手前に引き出す。

＜取り付けかた＞

配線カバーの裏側の溝を取り付け金具にかけて、上から配線カバーをおろす。

使用上のお願い

●ストーブなどの熱源を近づけないでください。
（そり・割れ・変色の原因となります。）

●木部などには粘着力のつよいテープなどを貼り付けないようにしてください。
（表面のはがれ・破損の原因となります。）

●テレビを設置する時に棚に傷をつけないようにご注意ください。（破損の原因となります。）

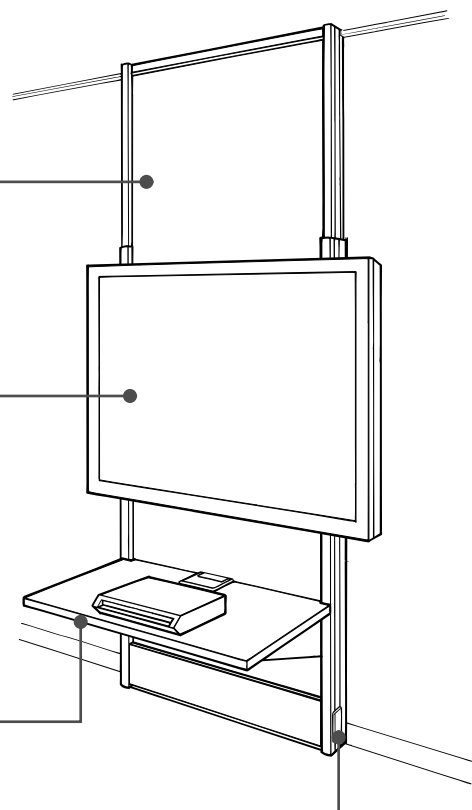
棚

●局部的に荷重をかけないでください。
（棚の変形や破損の原因となります。）

●ぬれたまま、汚れたままにしないでください。
（腐食やかびの原因となります。）

●熱いものを置かないでください。
（変形・変色の原因となります。）

●AV機器設置の際には耐震性に配慮し、市販の耐震シートのご使用をおすすめします。

●小さなお子様がいらっしゃるなど、コーナー部が気になる場合は市販のコーナーキャップなどを取り付けられることをおすすめします。

●テレビ ・AV機器により接続ケーブルの種類、本数が異なります。また、AV機器の設置位置によりケーブルの長さも異なりますので、AV機器の専門店様や電気工事店様にご相談ください。

●情報線と電源線は離して配線してください。

お手入れについて

※金属たわし・クレンザーを使用しないでください。（傷の原因になります。）

木製部分・配線カバー、樹脂部材

表面が汚れた場合は、台所用中性洗剤を薄め、柔らかい布を浸して、硬く絞ってふいてください。さらに乾いた柔らかい布でからぶきをしてください。

※シンナー・ベンジンなど揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

アルミ部分

※傷がつきやすいので、お手入れの際は柔らかい布で水ぶきしてください。（固いものは使用しないでください。）仕上げに必ずからぶきしてください。
汚れは、台所用中性洗剤をぬるま湯でうすめて、スポンジなどに含ませてふき取ってください。
その後からぶきしてください。
（アルカリ性、酸性系の洗剤は避けてください。）
※たわし・ナイロンたわし・クレンザーを使用すると傷の原因になります。

点検について

※地震などによりユニットに大きな力が加わった場合やユニットにがたつきが発生した場合はユニットの点検をおすすめします。

工事店様にご相談ください。

National

ナショナル シアターパネルシステム Sシリーズ 保証書

出張修理

※お客様	お名前　　　　様 ご住所 電話番号
※販売店	取扱販売店名・住所・電話番号

※お引渡し日	年　月　日
シリーズ・品番	
保証期間	（お引渡し日より）　本体2年間 但し 電気部品　1年間

無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
  （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
  （ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  （イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
  （ロ）消耗部品の取替えや修理、モーター、カバーの交換などによる故障及び損傷
  （ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
  （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
  （ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  （ヘ）仕上げのキズ等で、お引渡し時に申し出がなかったもの
  （ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
  （チ）維持管理の不備による汚れ、さび、詰まり等の不具合
  （リ）施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障
  （ヌ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
  （ル）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
  （ヲ）一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
  （ワ）本書のご提示がない場合
  （カ）保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書等で左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
  （ヨ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
6. お客様ご相談窓口は裏面をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

松下電工株式会社　収納システム事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048　TEL(代表)06−6908−1131